

## [2022]九州大学情報統括本部年報 : 2022年度

<https://hdl.handle.net/2324/7157415>

---

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2022, pp.1-, 2023-11-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



## 第4章 教育基盤事業室

### 4.1 教育用 ICT 環境の管理運用に関する事項

#### (1) 教育情報システムの日常的な管理運用

- ・ M2B システムを構成する Moodle (Web を利用した学習支援システム)、Metaboard (ダッシュボードシステム)、B-QUBE / BookQ (デジタル教材閲覧システム) のサーバの管理・運用を行った。なお、BookQ は 2022 年度をもって運用を終了した。
- ・ 2022 年度合計：6,925 コース (2021 年度合計：7,282 コース)  
※注) 前年度までは前期、後期等の学期ごとの集計をしていたが、クォーター制の講義が増えたり、複数の学期で開講される同一科目を一つのコースとして作成されたりする場合など、コース設置方法が多様化して学期ごとの集計が困難になったので、今回からは総コース数のみを記載している。
- ・ M2B システムを含む学習教育クラウド基盤のサーバの負荷状況を Zabbix というサーバ監視サービスを使って収集し、レスポンス改善の検討と実施を行った。
- ・ クラウド上で Windows の仮想マシン管理システムの運用を行なった。
- ・ プログラミング学習用サーバの運用を行った。Moodle と LTI 連携して Web ブラウザ上でプログラミング学習を行える環境の管理・運用支援を行った。

### 4.2 教育用 ICT 環境の利用支援及び教育用コンテンツの整備に関する事項

#### (1) 教育用 ICT 環境の利用支援

- ・ Web ページ上の教育用 ICT 環境に関する情報の更新、掲載を進めた。また、学府新入生と編入学生へのオリエンテーション支援として、アカウントの説明や主な情報システムを紹介した案内文書を作成し、各部局に配布した。
- ・ 全学 FD として M2B システムの講習会を 2022 年 9 月 14 日 (水) にオンライン形式 (Microsoft Teams) で開催、38 名の参加があった。また、Moodle 上に本講習会の録画を使用したコースを作成し、全学 FD として 2023 年 3 月 9 日 (木) より公開、68 名の受講申込があった。

#### (2) 教育用コンテンツの整備

- ・ 教材として、「情報倫理 2022 年度版」の日本語版、英語版、中国語版、「情報倫理デジタルビデオ小品集」、「よくわかる Office」の基礎編と応用編をオンライン研修システム上に公開している。

### 4.3 学生 PC 必携に関する事項

#### (1) 新入生 PC 準備作業

- ・ 学部新入生が入学前にアカウントの有効化や PC の設定などの準備を行う「入学前 PC カスタマイズ作業」のための説明動画や Web ページを作成して、自宅での作業を想定した案内を送付した。新入生 2,638 名のうち、2,507 名が設定作業を完了した。
- ・ 学生主体組織の quickQ チームと連携して、説明動画の作成と問い合わせ対応を行った。問い合わせ対応では、2021 年度から導入した LINE bot と LINE によるチャット対応を行った。

#### 4.4 アンケートシステムの運用に関する事項

匿名回答を収集できるアンケートを容易に作成し学内外に公開できるアンケートシステムの運用を行った。本システムの利用に関する情報を Web ページに掲載している。

#### 4.5 教職員研修コース用 eラーニングシステムの運用に関する事項

Moodle を学生の教育・学習用として最適化していくために、新たに商用パブリッククラウド上に教職員向けの eラーニングシステムを構築し、2020 年度前期から運用を開始している。2022 年度は学生データの取り込みと、職員の [ 身分 ] と [ 役職 ] を限定的に公開する機能、コースへのユーザ自動登録機能の追加を行った。

教職員と学生は別システムで研修を受講する必要があったため、受講対象者の見直しと機能改修を行い、学生も本システム上で研修の受講が可能となった。これに伴い、2022 年 10 月 17 日 ( 月 ) に本システムの名称を「オンライン研修システム」に改め運用している。

・ 2022 年度：83 コースの利用 ( 2021 年度：69 コース )

#### 4.6 大橋キャンパスの情報環境整備

2022 年 5 月から 2023 年 1 月まで、建屋 ( 情報基盤室 ) の改修工事を行っており、工事期間中は教育用端末 80 台を用いた講義等は行っていない。ただし、教育用のソフトウェアについては貸出を継続しているため、ソフトウェアの管理に必要なサーバ OS に対するパッチ、修正作業を 2022 年 9 月に夏季メンテナンス作業として実施した。

なお、現在は、令和 5 年度に更新する次期芸術工学部・学府用教育情報システムの仕様を大橋キャンパスの関係者が検討している。